

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード：120207

基礎看護学実習Ⅱ Basic Nursing Practice Ⅱ

| | | | | | |
|---------------|--|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 中田 弘子 木森 佳子 林 静子 田村 幸恵 田淵 知世 丸岡 直子 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 2年次通年 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 実習 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 90 | | |
| Keywords | 看護過程の展開 基本的態度 | | | | |
| 学習目的・目標 | 【学習目的】 医療機関で健康障害により入院生活を送っている対象を受け持ち、看護過程を展開する基礎的な能力を習得するとともに、看護職として必要な態度を身につける。【学習目標】 1. 看護に必要な情報をアセスメントし、看護上の問題の明確化、看護計画を立案し、実践できる。 2. 看護過程を通して看護職として必要な態度を身につける。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| | 内容 | | | | |
| | 1. 日程・内容・場所 時期 内容 場所 2年次夏期休業期間の内の2週間 事前学習 学内で受け持ち患者の紹介、必要な知識・技術の学習 臨地実習 県内の医療機関3施設において2週間の実習を2クールに分けて実施 実習のまとめ 同上 | | | | |
| | 2. グループ編成 1グループは3～4名程度で編成し、各医療施設（病棟）で実習する。 | | | | |
| | 3. 受け持ち対象 健康障害により入院生活を送っている対象1名を受け持つ。 | | | | |
| | 4. 具体的な方法 1) 入院中の対象の紹介を受ける。 2) 看護に必要な情報を収集し、アセスメントする。 3) 看護上の問題を明確にし、看護計画を立案、実施する。 4) 実施場面を再構成し、対象との相互作用について振り返り評価する。 5) カンファレンスを通して、実習体験を意味づけるとともに他の学生と学びを共有する。 6) 看護過程を通し、看護の学びを深め、今後の課題を明らかにする。 | | | | |
| 教科書 | 看護専門領域（健康・疾病・障害の理解、看護の基本、看護援助の方法等）のテキスト、授業で配布したプリントを活用する。その他、受け持つ対象者の特性に応じてアセスメントに必要な専門書、看護書を用いる。 | | | | |
| 参考図書等 | 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 | | | | |
| 評価指標 | 評価の割合は実習記録を60%、実習態度やカンファレンスへの参加状況等を40%とする。 | | | | |
| 関連科目 | 看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎看護学実習Ⅰ 人間機能学 人間病態学 疾病障害論 臨床薬理学 臨床栄養学 フィジカルアセスメント等 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 対象の健康上の問題を理解するためには、看護分野だけでなく健康・疾病・障害の理解等の授業で学んだ知識の統合が必要です（知的な関心）。また、自己への関心を対象にギアチェンジするためには、相手の視点で考えることが求められます（人間的な関心）。2年生の感じる心、考える力、表現力に期待しています。 | | | | |